

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

午前の部

登録販売者試験

(平成21年11月17日実施)

試験問題

医薬品に共通する特性と基本的な知識・・・ 問 1～問 20
 主な医薬品とその作用・・・・・・・・・・・・ 問21～問 60

注意事項

- 試験開始のアナウンスがあるまで、問題を開かないこと。
- 試験監督員のアナウンスにより、問題用紙の表紙に受験番号を記入するとともに、解答用紙に氏名及び受験番号（6桁）を記入すること。
 (注) ①受験番号は、算用数字で記入すること。
 ②解答用紙の「受験番号記入欄」には、受験番号に対応した数字をマークすること。
- 問題用紙は、表紙を除いて30ページある。試験開始後、乱丁等がないかを確認し、異常があるときは速やかに試験監督員に申し出ること。
- 各問題について、答えを一つ選び、その番号のカッコの中全体をHBより濃い黒鉛筆で濃くぬりつぶすこと。(下記(例)参照)

(例)【問150】

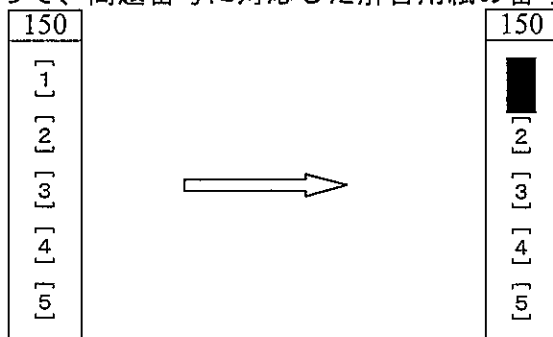
次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. $1+1=2$ である。
- b. $5-3=3$ である。
- c. $1\times 2=2$ である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

aは正、bは誤、cは正であるから、正しい答えは「1」となる。

よって、問題番号に対応した解答用紙の番号「150」欄の「1」を塗りつぶすこと。



なお、答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残った場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。

- 解答用紙の<注意事項>もよく読んでおくこと。

医薬品に共通する特性と基本的な知識

【問 1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、人体にとって好ましくない反応を生じる場合がある。
- b. 医薬品は、多くの場合、人体に取り込まれて作用し、効果を発現させるものである。
- c. 人体に対して使用されない医薬品である殺虫剤の中には、誤って人体がそれに曝^{さら}されれば健康を害するおそれがあるものもある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、医療用医薬品に比べ相対的に保健衛生上のリスクが低いと考えられる。
- b. 登録販売者は、随時付加される有効性、安全性等に関する新たな情報に円滑に対応できるよう、常に新しい情報の把握に努める必要がある。
- c. 一般用医薬品は、安全性等を十分に確認され承認されているため、成分分量、効能効果等が変更されることはない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問3】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 登録販売者は、一般の生活者が添付文書の記載内容の効能効果や副作用等について誤解を生じないように、専門用語を平易な表現で伝えるなど適切に情報提供することが不可欠である。
- b. 一般用医薬品は、異物が混入していても健康被害が発生していなければ製造販売業者による製品回収の措置はなされない。
- c. 医薬品は、生命関連製品であるため高い水準で均一な品質が保証されていなければならない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 我が国では、医薬品の副作用を「許可医薬品が適正な使用目的に従い適正に使用された場合においても、その許可医薬品により人に発現する有害な反応」と定義している。
- b. 医薬品の副作用は、薬理作用によるものをいい、アレルギーによるものは含まない。
- c. 複数の疾病を有する人の場合、ある疾病のために使用された医薬品の作用が、その疾病に対して薬効をもたらす一方、別の疾病に対しては症状を悪化させたり、治療が妨げられたりすることもある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問5】

次のa～cの（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

(a) は、本来、細菌やウイルスなどが人体に取り込まれたとき、人体を防御するために生じる反応であるが、過敏に反応して、好ましくない症状が引き起こされることがある。これを (b) という。通常 (a) の場合、人体にとって (c) ための必要な過程であるが、(b) においては過剰に組織に刺激を与える場合も多い。

	a	b	c
1	免疫反応	アレルゲン	有害なものを体内から排除する
2	代謝	アレルギー	有用なものを体内に取り込む
3	免疫反応	アレルギー	有害なものを体内から排除する
4	代謝	アレルゲン	有害なものを体内から排除する
5	免疫反応	アレルギー	有用なものを体内に取り込む

【問6】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 薬理作用がない添加物は、アレルギーを引き起こす原因物質にはならない。
- b. アレルギーには、遺伝的な要素が関係することはない。
- c. 医薬品の中には、牛乳を原材料として作られているものもあるため、牛乳に対してアレルギーがある人では使用を避けなければならない場合もある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問7】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 直接人体に使用されない一般用検査薬であっても、検査結果について正しい解釈や判断がなされなければ、適切な治療を受ける機会を失うおそれがあり、人の健康に影響を与えるものと考えられる。
- b. 一般用医薬品は、十分注意して適正に使用されていれば副作用が起こることはない。
- c. 一般用医薬品が人体に及ぼす作用は、すべてが解明されているわけではない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問8】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品の副作用には、眠気や口渇等の軽微なものは含まれないが、日常生活に支障を来す程度の健康被害を生じるものは含まれる。
- b. 一般用医薬品は、副作用の兆候が現れたときには、基本的に用量を減らし継続して使用することとされている。
- c. 副作用は、血液や内臓機能への影響等のように、直ちに明確な自覚症状として現れないこともある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 9】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は習慣性・依存性がある成分を含んでいるものもあり、乱用されることもある。
- b. 一般用医薬品の乱用で形成された薬物依存から抜け出すことは容易ではない。
- c. 登録販売者は、一般用医薬品の大量又は頻回購入者に対し、積極的に事情を尋ねたり販売を差し控えるなどの対応は信頼を損なうことがあるので避けることが望ましい。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問 10】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 複数の医薬品を併用した場合に医薬品の作用が増強することを相互作用という。
- b. 複数の医薬品を併用した場合に医薬品の作用が減弱することを相互作用という。
- c. 医薬品を特定の食品と一緒に摂取した場合に、医薬品の作用が増強したり減弱したりすることを相互作用という。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 1 1】

次の a～c の医薬品の相互作用に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 吸収・代謝の過程で起こり、分布・排泄の過程では起こらない。
- b. 医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。
- c. 相互作用を回避するには、通常、ある医薬品を使用している期間やその前後を通じて、その医薬品と相互作用を生じるおそれのある医薬品や食品の摂取を控えなければならない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

【問 1 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 登録販売者は一般用医薬品の購入者に対し、医療機関を受診する際に、使用している一般用医薬品の添付文書を持参するよう説明すべきである。
- b. 一般用医薬品は、複数の成分が配合されていることが多いが作用が著しくないため、他の医薬品と併用した場合に同様な作用を持つ成分が重複しても、作用が強くなることはない。
- c. 複数の疾病を有する人では、疾病ごとに医薬品が使用される場合が多いため、相互作用に特に注意をする必要がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	誤	正	正
3	正	正	誤
4	正	誤	誤
5	誤	正	誤

【問13】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品が体内で代謝され産生した物質には薬効は生じない。
- b. 酒類をよく摂取する者は、アセトアミノフェンが通常より代謝されやすくなり、十分な薬効が得られなくなることがある。
- c. ビタミンAを含んだ食品とビタミンA含有医薬品と一緒に摂取しても過剰摂取となることはない。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	誤

【問14】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 乳児には、まず一般用医薬品による対処を行い、改善されなければ、医師の診療を受けることが望ましい。
- b. 成人の用法用量のみ記載されている一般用医薬品を小児に服用させる場合、用量を減らして小児へ与えるよう登録販売者は情報提供をすることが望ましい。
- c. 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が長く、服用した医薬品の吸収率が高い。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	誤	誤

【問15】

次のa～cの高齢者に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 基礎疾患を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって基礎疾患の症状が悪化することもある。
- b. 飲み込む力が弱まっている場合があり、内服薬を服用する際、喉に詰まらせやすい。
- c. 生理機能が衰えている場合、一般用医薬品については定められた用量より少ない用量から使用することで、必ずリスクの軽減を図ることができる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問16】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 胎盤には、胎児の血液と母胎の血液とが混ざらない仕組み（胎盤関門）があるため母体が医薬品を使用しても胎児には移行しない。
- b. 医薬品の種類によっては、体に吸収された医薬品の成分の一部が乳汁中に移行することが知られており、母乳を介して乳児が医薬品の成分を摂取することになる場合がある。
- c. 薬局で調剤された薬剤を使用している人が一般用医薬品を併用する場合は、登録販売者が併用の可否を判断し、適正使用に関する情報提供をしなければならない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	正	正
3	誤	正	誤
4	正	誤	正
5	誤	誤	正

【問17】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 通常、医薬品を使用したときにもたらされる反応や変化には、薬理作用によるもののほか、プラセボ効果によるものも含まれている。
- b. プラセボ効果は、客観的に測定可能な変化として現われることもあるが、不確実であり、それを目的として医薬品が使用されるべきではない。
- c. 医薬品を高温、多湿、直射日光の下に置くことのないよう適切に保管・陳列すれば品質の劣化は生じない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問18】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 「セルフメディケーション」とは、専門家による適切なアドバイスの下、医師から交付された医薬品を利用する考え方である。
- b. 一般用医薬品の使用は、医療機関での治療を受けるほどではない体調の不調や疾病の初期段階、あるいは日常において、生活者が自らの疾病の診断、治療若しくは予防又はQOLの改善・向上を図ることを目的としている。
- c. 一般用医薬品で対処可能な範囲は、医薬品を使用する人によって変わってくるものである（乳幼児や妊婦等）。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問19】

次のa～cの登録販売者が一般用医薬品を販売する時のコミュニケーションに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. その医薬品を使用する人が医療機関で治療を受けていないかを確認する必要がある。
- b. その医薬品を使用するのは情報提供を受けている当人か、又はその家族等が想定されるかを確認する必要がある。
- c. その医薬品を使用する人として、小児や高齢者、妊婦等が想定されるかを確認する必要がある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

【問20】

次のa～cの薬害に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. CJD訴訟は、ヒト乾燥硬膜を介してクロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. サリドマイド訴訟の原因物質であるサリドマイドには、光学異性体があり、一方の異性体には鎮静作用、他方には血管新生を妨げる作用があるとされている。
- c. 医薬品の副作用等による健康被害の拡大防止に関しては、製薬企業や国にその責務があり、登録販売者が関与することではない。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

主な医薬品とその作用

【問 2 1】

次の a～c のかぜ薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アスピリンは、解熱鎮痛作用を目的としている。
- b. 臭化水素酸デキストロメトルファンは、去痰^{たん}作用を目的としている。
- c. グアヤコールスルホン酸カリウムは、鎮咳^{がい}作用を目的としている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問 2 2】

次の a～c のかぜ薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ブロメラインは、血液凝固異常の症状がある人では、出血傾向を悪化させるおそれがある。
- b. トラネキサム酸は、凝固した血液を分解されにくくする働きがある。
- c. グリチルリチン酸二カリウムは、苦味料として用いられる。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	誤
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 2 3】

次の a～d の漢方処方製剤のうち、かぜの症状の緩和に用いられ、構成生薬としてカンゾウ及びマオウを含む製剤の正しい組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 葛根湯 かっこんとう
- b. 柴胡桂枝湯 さいこけいしとう
- c. 小柴胡湯 しょうさいことう
- d. 小青竜湯 しょうせいりゅうとう

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (a, d) 4. (b, c) 5. (b, d)

【問 2 4】

次の a～c のサリチル酸系解熱鎮痛成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般に、痙攣性けいれんの内臓痛には、鎮痛効果は期待できない。
- b. 痛みや発熱の原因となっている病気や外傷自体を治す目的で用いられる。
- c. アスピリンには、血液を凝固しにくくする作用がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	誤

【問25】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 非ピリン系解熱鎮痛成分では、薬疹^{しん}はみられない。
- b. エテンザミドは、1.5歳未満でインフルエンザにかかっているときは使用を避ける必要がある。
- c. ピリン系解熱鎮痛成分は、いずれも、重篤な副作用のため、一般用医薬品の解熱鎮痛薬に配合されていない。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正
5	正	正	正

【問26】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 抗ヒスタミン成分の中で塩酸ジフェンヒドラミンは、中枢作用に基づく眠気が強いとされており、催眠鎮静薬に配合されている場合がある。
- b. アリルイソプロピルアセチル尿素が配合された医薬品を使用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- c. カノコソウは、神経の興奮・緊張を和らげる作用を期待して配合される生薬成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	正

【問27】

次のa～cのカフェインに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 副作用として振戦（震え）、めまい、不安、不眠を生じることがある。
- b. 尿量の増加（利尿）をもたらす作用がある。
- c. 胃液の分泌を抑制する作用がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正
5	正	正	正

【問28】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ジメンヒドリナートは、専ら乗物酔い防止薬に配合される抗ヒスタミン成分である。
- b. 塩酸ジフェニドールは、胃粘膜への麻酔作用によって嘔吐刺激を和らげることを目的として鎮暈薬に配合されている場合がある。
- c. 小建中湯は、体質虚弱で疲労しやすく、血色がすぐれない人における、腹痛、動悸、手足のほてり、冷え、頻尿及び多尿などのいずれかを伴う、小児虚弱体質、夜泣きなどに適すとされる漢方処方製剤である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問29】

次の a～d の () に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

塩酸トリメトキノールは、(a) 作動成分であり、(b) 神経系を刺激して気管支を (c) させる作用を示す。同様の作用を示す生薬成分として、(d) がある。

	a	b	c	d
1	コリン	副交感	拡張	セネガ
2	アドレナリン	交感	拡張	マオウ
3	コリン	副交感	収縮	セネガ
4	アドレナリン	交感	収縮	マオウ
5	アドレナリン	副交感	拡張	マオウ

【問30】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. リン酸ジヒドロコデインは、延髄の咳嗽中枢に作用して咳を抑える作用を示す。
- b. リン酸コデインは、胃腸の運動を低下させる作用を示す。
- c. 塩酸ノスカピンは、モルヒネと同じ基本構造を持ち、依存性がある成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	誤

【問 3 1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. マオウは、依存性のある成分を含む生薬である。
- b. 塩酸エチルシステインは、気道分泌を促進する作用を示す。
- c. グアイフェネシンは、痰の中の粘性蛋白質に作用してその粘りけを減少させる作用を示す。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 3 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 口腔咽喉薬や含嗽薬は、配合成分の種類にかかわらず、医薬品としてのみ認められている。
- b. 塩化リゾチームを配合した口腔咽喉薬や含嗽薬は、局所的な作用を目的としているため、全身的な副作用を生じない。
- c. グルコン酸クロルヘキシジンは、ショック（アナフィラキシー）を生じることがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	誤	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問33】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 合成ヒドロタルサイトは、抗コリン作用により胃液分泌を抑制する。
- b. アルミニウムを含む成分を配合する制酸剤は、透析療法を受けている人に使用してはいけない。
- c. オウバクが配合された健胃薬は、服用しづらい場合には、オブラートで包み服用するのがよい。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	正	正	正
5	正	誤	正

【問34】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 卵にアレルギーがある人は、タンニン酸アルブミンの服用を避ける必要がある。
- b. ヒマシ油は、膨潤性瀉下成分である。
- c. マグネシウムを含む成分は、一般に消化管からの吸収は少ないとされている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問35】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 臭化ブチルスコポラミンは、排尿困難の症状を悪化させるおそれがある。
- b. 塩酸パパペリンは、眼圧を低下させる作用を示す。
- c. アミノ安息香酸エチルは、乳幼児ではメトヘモグロビン血症を起こすおそれがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	正

【問36】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 浣腸薬は一般に、直腸の急激な動きに刺激されて流産・早産を誘発するおそれがある。
- b. 炭酸水素ナトリウムは、腸内容物の浸透圧を高めることで、大腸を刺激して排便を促す。
- c. サントニンは、殺虫作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	誤

【問37】

微量で強い強心作用を示すシナヒキガエル又はヘリグロヒキガエルの毒腺^{せん}の分泌物を集めた生薬を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. ゴオウ
2. ジャコウ
3. センソ
4. ロクジョウ
5. リュウノウ

【問38】

次のa～cの貧血用薬（鉄製剤）に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 服用すると便が黒くなることがある。
- b. アスコルビン酸は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。
- c. 服用の前後30分にタンニン酸を含む飲食物を摂取すると、鉄の吸収が良くなる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	誤

【問39】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. パンテチンは、高密度リポ蛋白質（HDL）の分解を促し、また、低密度リポ蛋白質（LDL）が形成される過程に働いて、低密度リポ蛋白質（LDL）を増加させる効果を期待して用いられる。
- b. リボフラビンの摂取によって尿が黄色くなることがあるが、これは使用の中止を要する副作用である。
- c. ヘプロニカートは、末梢の血液循環を改善する作用を示す。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	正	誤	誤

【問40】

次の表はある胃腸鎮痛鎮痙薬に含まれている成分の一覧である。

3錠中	
臭化メチルオクタトロピン	10mg
メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	300mg
炭酸水素ナトリウム	250mg

この胃腸鎮痛鎮痙薬に関する、次のa～dの記述の正しい組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ロートエキスを含有する胃腸薬との併用を避ける必要がある。
- b. 服用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- c. 口渇や便秘の副作用は現れにくい。
- d. 抗ヒスタミン成分が、配合されている。

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (a, d) 4. (b, c) 5. (b, d)

【問4 1】

次のa～dのうち、痔患部の止血効果を期待して配合される成分の正しい組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩酸ナファゾリン
- b. セイヨウトチノミ
- c. 塩化デカリニウム
- d. カイカ

1. (a, c) 2. (a, d) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問4 2】

次のa～cの()に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

六味丸は、(a)、尿量減少又は多尿で、ときに口渇がある人における、排尿困難、頻尿、(b)、痒みの症状に適するとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では、(c)、腹痛、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

	a	b	c
1	疲れやすく	むくみ	胃部不快感
2	疲れやすく	しびれ	四肢の冷え
3	比較的体力があり	しびれ	四肢の冷え
4	比較的体力があり	しびれ	胃部不快感
5	疲れやすく	むくみ	四肢の冷え

【問43】

次のa～cの婦人薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. カサントラノールは、人工的に合成された女性ホルモン成分であるため、胎児の先天性異常の発生が報告されており、妊婦又は妊娠していると思われる女性では使用を避ける必要がある。
- b. センキュウはセリ科のセンキュウの根茎であり、血行を改善し、血色不良や冷えの症状を緩和する。
- c. 鎮静、鎮痛のほか、女性の滞っている月経を促す作用を期待して、コウブシが配合されている場合がある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問44】

次のa～cのアレルギー用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ベラドンナ総アルカロイドは、交感神経系を刺激して鼻粘膜の血管を収縮させることによって鼻粘膜の充血や腫れを和らげることを目的としている。
- b. ブロメラインは、鼻腔内の刺激を伝達する副交感神経の働きを抑えることによって鼻汁分泌やくしゃみを抑えることを目的としている。
- c. フマル酸クレマスチンは、肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることにより、ヒスタミンの働きを抑える作用を示す。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	誤

【問 4 5】

次の a ~ c の鼻炎用点鼻薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品の鼻炎用点鼻薬の対応範囲は、急性又はアレルギー性の鼻炎及びそれに伴う副鼻腔炎であり、蓄膿症などの慢性のものは対象となっていない。
- b. アドレナリン作動成分のように、鼻以外の器官や臓器に影響を及ぼすおそれがある成分も配合されている場合は、3日位使用しても症状の改善が見られなければ、漫然と使用を継続せずに医療機関（耳鼻科）を受診することが望ましい。
- c. スプレー式鼻炎用点鼻薬は、噴霧後に鼻汁とともに逆流する場合があるので、使用前に鼻をよくかんでおくほうが良い。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	誤

【問 4 6】

目の調節機能に関する記述について、次の a ~ c の () に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

自律神経系の伝達物質である (a) は、水晶体の周りを囲んでいる毛様体に作用して、目の調節機能に関与している。目を酷使すると、(a) を分解する酵素 (b,) の働きが活発になり、目の調節機能が低下し、目の疲れやかすみといった症状を生じる。

(c) は、(b) の働きを抑える作用を示し、毛様体における (a) の働きを助けることで、目の調節機能を改善する効果を目的として用いられる。

	a	b	c
1	アセチルコリン	コリンエステラーゼ	メチル硫酸ネオスチグミン
2	アドレナリン	コリンエステラーゼ	塩酸エフェドリン
3	アセチルコリン	セミアルカリプロティナーゼ	メチル硫酸ネオスチグミン
4	アドレナリン	コリンエステラーゼ	メチル硫酸ネオスチグミン
5	アセチルコリン	セミアルカリプロティナーゼ	塩酸エフェドリン

【問47】

次のa～dの眼科用薬として使用される成分とその作用の関係が正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

成 分	作 用
a. 塩酸テトラヒドロゾリン -----	ステロイド性抗炎症作用
b. ホウ酸 -----	抗菌作用
c. アズレンスルホン酸ナトリウム -----	目の乾きを改善する作用
d. 塩化リゾチーム -----	抗炎症作用

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問48】

次のa～cの外皮用薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 酢酸プレドニゾロンは、末梢組織(患部局所)におけるプロスタグランジンの産生を抑える作用を持つ成分である。
- b. ウンデシレン酸は、患部をアルカリ性にする事で、皮膚糸状菌の発育を抑える。
- c. ポビドンヨードは、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	正	正	誤

【問49】

次の a～c の外皮用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 外皮用薬で用いられるステロイド性抗炎症成分は、体の一部に生じた湿疹、皮膚炎、かぶれ、あせも、虫さされ等の一時的な皮膚症状（ほてり・腫れ・痒み等）の緩和を目的とするものである。
- b. ぜにたむしやいんきんたむしで患部が広範囲に及ぶ場合は、自己治療の範囲を超えており、また、内服抗真菌薬の処方による全身的な治療が必要な場合もあるので、医療機関（皮膚科）を受診することが望ましい。
- c. 痛みが著しい、又は長引く、脱臼や骨折が疑われる場合には、一般用医薬品を継続的に使用するのではなく、医療機関（整形外科又は外科）を受診することが望ましい。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	正	誤	正
5	誤	正	正

【問50】

次の a～d の歯や口中に用いる薬に関する記述について、正しい組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩化セチルピリジニウムは殺菌消毒作用と組織修復作用が期待される成分である。
- b. カルバゾクロムは、患部の細菌感染を防止する目的で配合されている場合がある。
- c. 歯痛薬に含まれるアミノ安息香酸エチルは、露出した歯髄を^{ずい}通っている知覚神経を遮断して痛みを鎮めることを目的として配合される。
- d. 歯槽膿漏^{そうのうろう}薬には、歯周組織の炎症を和らげることを目的として、グリチルリチン酸二カリウムが配合されている場合がある。

1. (a, b) 2. (a, d) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問51】

次のa～cの口内炎に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 口内炎は、通常であれば1～2週間で自然寛解するが、一度に複数箇所に発生して食事に著しい支障を来すほどの状態であれば、医療機関を受診することが望ましい。
- b. 副作用として口内炎が現れる一般用医薬品はない。
- c. 口内炎が長期間に渡って症状が長引いている場合には、口腔粘膜に生じた腫瘍しゅようである可能性もあるので、医療機関を受診することが望ましい。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	誤	誤
5	正	正	誤

【問52】

次のa～dの咀嚼剤そしゃくである禁煙補助剤に関する記述について、正しい組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 使用期間は、6ヶ月を目途とし、1年を超える使用は避けることとされている。
- b. 禁煙補助剤は、喫煙を完全に止めたうえ使用することとされている。
- c. 口腔内くわうが酸性になると、ニコチンの吸収が低下するため、コーヒーや炭酸飲料を摂取した後は、しばらく使用を避けることとされている。
- d. 妊娠している女性は、禁煙したほうがよいので、積極的に使用することが望ましい。

1. (a , b) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問53】

ビタミン剤に含まれる次のa～dの成分とその成分を配合する目的との関係について、正しい組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

成 分	目 的
a. アスコルビン酸 -----	末梢血管障害による肩・首すじのこり、手足のしびれ・冷え、しもやけの症状の緩和
b. 塩酸ピリドキシン -----	口角炎、口内炎、舌炎、湿疹、皮膚炎、肌荒れ、手足のしびれの症状の緩和
c. 塩酸チアミン -----	神経痛、筋肉痛・関節痛(腰痛、肩こり等)、脚気の症状の緩和
d. 酢酸レチノール -----	しみ・そばかす・日焼けなどの色素沈着症、全身倦怠、二日酔い、にきび、湿疹、蕁麻疹、かぶれ等の症状の緩和

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問54】

次のa～cの漢方の考え方に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 患者の証に基づく考え方で虚証とは、体内の臓器を働かせるエネルギーの貯蔵量が少ない体質をいい、実証とは、そうしたエネルギーの貯蔵量が多い体質を指す。
- b. 陰陽五行説は人体の臓器を五臓六腑に分け、それぞれの臓器が相互に作用し合っいんようごぎょうて生体のバランスを取っている、という考え方に基づいて処方を選択する考え方である。ごぞうろつぷ
- c. 漢方薬はすべからく作用が緩やかで、副作用が少なく、重篤な副作用は起きない。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	誤	正	正
3	正	誤	誤
4	正	誤	正
5	正	正	誤

【問55】

次の記述は、ある生薬に関するものであるが、その記述に該当する生薬として正しいものを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

キンポウゲ科のハナトリカブトの塊根であり、心筋の収縮力を高めて血液循環を改善する作用を持つ。

1. ショウマ
2. ブシ
3. レンギョウ
4. ブクリョウ
5. サンザシ

【問56】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ゴオウは、強心作用のほか、末梢血管の収縮による血圧上昇などの作用があるとされている。
- b. サフランは、アヤメ科のサフランの柱頭（雌しべ）であり、鎮静、鎮痛のほか、女性の滞っている月経を促す作用を期待して、婦人薬に配合されている場合がある。
- c. シコンは、組織修復促進、抗菌などの作用を期待して、口内炎用薬に用いられる。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	誤	正	正

【問57】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. エタノールは、アルコール分が微生物の蛋白質を変性させ、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対する殺菌消毒作用を示す。
- b. グルコン酸クロルヘキシジンは、黄色ブドウ球菌、カンジダ等の真菌類に加えてウイルスに対する消毒作用を示す。
- c. クレゾール石鹼液は、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示し、ウイルスに対しても消毒作用がある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問58】

次のa～cの（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

フェニトロチオンは、代表的な（ a ）系殺虫成分であり、殺虫作用は、アセチルコリンを分解する酵素と（ b ）に結合してその働きを阻害することによる。誤って飲み込んでしまった場合には、神経の異常な興奮が起こり、（ c ）、呼吸困難、筋肉麻痺等の症状が現れるおそれがある。

	a	b	c
1	有機リン	可逆的	散瞳 ^{どう}
2	カーバメイト	不可逆的	散瞳 ^{どう}
3	有機リン	可逆的	縮瞳 ^{どう}
4	有機リン	不可逆的	縮瞳 ^{どう}
5	カーバメイト	可逆的	縮瞳 ^{どう}

【問59】

次のa～cの一般用検査薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 尿糖・尿^{たん}蛋白同時検査の場合、早朝尿（起床直後）の尿を検体とするが、尿糖が検出された場合には、食後（1～2時間）の尿について改めて検査して判断する必要がある。
- b. 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で中性～弱酸性に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- c. 採取した検体には予期しない妨害物質や化学構造がよく似た物質が混在することがあり、いかなる検査薬においても擬^ぎ陰性・擬^ぎ陽性を完全に排除することは困難である。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問60】

次のa～cの妊娠検査薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般的には、月経予定日が過ぎて概ね1週目以降の検査が推奨されている。
- b. ヒト^{じゅう}絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）を検出するので、妊婦のほか経口避妊薬や更年期障害治療薬などのホルモン剤を使用している人以外でも、検査結果は陽性となることがある。
- c. 尿中hCGの検出反応は、hCGと特異的に反応する抗体や酵素を用いた反応であるため、検査操作を行う場所の室温が極端に高い又は低い場合には、正確な検査結果が得られないことがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤